

特集 見どころ再発見！

九十九島の魅力を感じよう

九十九島の魅力が体感でき、観光客にも大人気の「九十九島パールシーリゾート」。今回の特集では、4月に就航した海賊遊覧船「みらい」の船長や海きららのクラゲ飼育担当者にその見どころなどを伺い、今、インターネットで話題になっている99本のCM放映などについて話を聞きました。皆さんも秋の心地良い休日などにパールシーを訪れてみませんか。



九十九島の景色を楽しもう！

電気推進遊覧船「みらい」で巡る九十九島

電気推進船で快適な遊覧を
ことし4月に就航した「みらい」は、遊覧船としては日本初の電気推進船です。船内はパリアフリーで、エレベーターも設置しています。

船が走り出すと、船上では爽やかな風が吹き抜け、目の前には青い空と海、九十九島の島々が広がります。乗船客は、思い思いの場所で九十九島の美しい景色を楽しんでいます。船上に出て感じたのは、音が静かで船の振動がほとんどな

いことでした。これは電気推進船の大きな特徴の一つです。また、通常の遊覧船と比べて小回りが利くので、島と島の間を縫うように進む九十九島の遊覧コースに適した船でもあります。

九十九島の情景は
毎日が新しい発見！

遊覧船の操船を担当する船長の宮本英雄さんに話を聞きました。「遊覧船から見る九十九島は、

天気や季節によって情景が変わり、一日として同じ日はありません。九十九島の景色の中には日々新しい発見があり、毎日見ても全く飽きることはないんですよ。時々、空を飛ぶミサゴや海を泳ぐスナメリなど珍しい生き物たちを見ることがするのも楽しみの一つです」

『海王のように愛される船に
みらいは徐々に乗客数を増やし、ゴールデンウィークや夏休みにはたくさんの家族連れで船内がにぎわったそうです。

「市民の皆さんへの周知は進んでいます。県外での認知度はまだまだこれからです。今後『海王』のように愛される船になってほしい。そして、たくさんの人たちに遊覧船から見た九十九島の美しさを感じてほしいです」



「みらい」のデッキで話を伺った宮本船長



(写真左) 島の間を進むときには、手を伸ばせば届きそうなほど間近で島を見ることができます



(右上) 停泊中のみらい (右下) 船内では水産加工品や遊覧船オリジナル商品などの販売も行っています

ふわふわ不思議な生き物「クラゲ」

九十九島水族館海きららでは、九十九島の海にすむ生き物たちを展示しています。今回は、海のおもしろな生き物「クラゲ」について取材しました。

海きらら育ちのクラゲたち

館内にあるクラゲ研究室に足を踏み入れると、クラゲが入っているガラスビーカーなどの水替えを飼育員が行っていました。クラゲはきれいな水の中でしか生きられないため、1日1回全ての水替えを行います。研究室内に所狭しと並べられたビーカーの中には、目を凝らさなければ見えないほど小さなクラゲが泳いでおり、飼育員はクラゲたちを1匹ずつスポイトで別の容器に移し、水を入れ替えます。小さなクラゲを見落とさないよう気を使う作業です。

作業の中で、クラゲの元となる「ポリプ」に餌を与えること

ろを見せてもらいました。餌は「アルテミア」というエビの仲間の幼生をスポイトで与えます。見せてもらったのはヒドロクラゲ類のポリプで、糸のように細く、植物の根のような形をしていました。このポリプに水温の変化などの刺激を与えると、そこから幼クラゲが出てきます。繁殖方法が確立されている種は、必要ときに幼クラゲを出して育て、館内に常設展示しています。館内で見ることが出来るクラゲのほとんどが「海きらら生まれ、海きらら育ち」のクラゲです。

九十九島は生き物の楽園

クラゲの研究などを20年以上行っている、海きららの「クラゲ博士」こと秋山仁さんに話を聞きました。

「クラゲは種類によってさまざまな生態の違いがあり、繁殖が難しい生き物です。雄と雌が

いるものもあれば雌雄同体のものもあり、ポリプの種類もさまざま。新しいクラゲを発見したら、それがどんな生態なのか調べることから始めます」

九十九島の海で確認されているクラゲは約200種。その中で繁殖に成功しているのはわずか20種程度です。

クラゲ担当の飼育員は、九十九島にどんなクラゲがいるのかを調査したり、繁殖方法を調べたりするなど、日々クラゲの研究を行っています。九十九島の海のように200種近くのクラゲを見ることが出来る海域は全国的にもかなり珍しいとのこと、豊かな自然を育む九十九島は、多くのクラゲや

魚にとつての楽園なのでしょう。

クラゲは不思議で美しい

秋山さんが思うクラゲの魅力について尋ねました。

「飼育に携わる前は、クラゲに対して『刺されると痛い』などの悪いイメージを持っていました。でも、水中を泳ぐクラゲは美しく、その生態の奥深さからとんとん魅力に取りつかれていきました。海きららを訪れる皆さんにも、美しいクラゲの姿を見てもらい、本当はこんなにも魅力的な生き物なんだと知ってもらいたいです」

取材日 9月17日

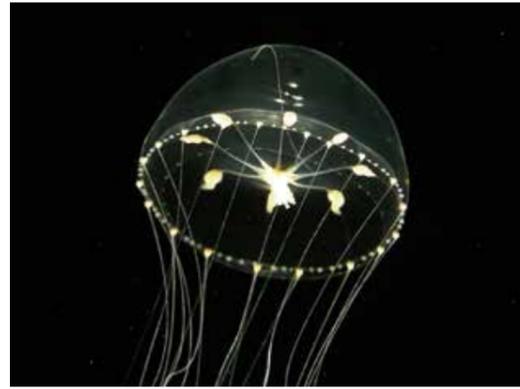


クラゲ担当飼育員 秋山仁さん

全国的・世界的にも珍しいクラゲたち

九十九島の海域で発見された、全国的・世界的にも珍しいクラゲを紹介します。2種のクラゲは繁殖にも成功しており、海きららで展示中です。 ※展示内容は変更する場合があります。

展示は世界でも海きららだけ！



ホシヤスジクラゲ

俵ヶ浦町において日本で初めて確認されました。星のような8つの黄色い鮮やかな生殖腺と8本のスジのような放射管が特徴です。



ワタゲクラゲ

世界でも過去に報告されていない、九十九島湾周辺と大村湾だけで発見された大変貴重なクラゲです。海きららでは世界に先駆けて展示しています。



(写真左) 海きららで見ることが出来るクラゲたち。幻想的な光と音楽に癒やされます

(写真右) クラゲの元となる「ポリプ」に餌を与える様子。ポリプの状態を観察しながら餌を与えます

スタッフが生き生きと演じる「九十九CM」

九十九島の魅力が盛りだくさんのCM

西海国立公園指定60周年を迎えたことし、九十九島パールシーリゾートでは九十九島の魅力を詰め込んだ99本のCM映像「九十九CM」を制作しました。九十九島の認知度は平成25年度の調査では全国で40%程度で、あまり知られていませんでした。このことから「より多くの人に九十九島の良さを知ってもらいたい」と、世界中から見る事ができるインターネット上でCMを公開しています。

魅力を伝えたい！

熱い思いでスタッフ総出演 CMには、九十九島パールシーリゾートの水族館や遊覧船、九十九島動植物園のスタッフが総出演。九十九島を一番分かっている自分たちで、その良さを伝えたいという思いが

ありました。

撮影期間はわずか7日間で、1日10本以上のペースで撮影を行いました。1本当たりの撮影時間も30分程で、スタッフが演技指導を受けるのも撮影直前です。そんなハードスケジュールの中でも、スタッフは九十九島の良さを伝えようと体当たりの演技で撮影に臨みました。それぞれの作業や飼育の合間を縫って行われた撮影は大変だったようですが、スタッフ全員がとても楽しんで出演していたそうです。

ユニークな内容が興味を引く

CMの内容は、歌を歌う、九十九島に向かって叫ぶ、思わず笑ってしまうような会話のやりとりなど、どれもユニークなものばかり。CMの方向性についてはパールシーのスタッフと制作会社が一緒に考えて考えたそうです。面白い内容で

まずは興味を持ってもらい、九十九島や施設のことなどを知ってもらいきっかけになれば、という思いで作られました。九十九CMは公開から少しずつ反響を呼び、動画の再生回数が多いもので1万回を超えています。CMの特設サイトは福岡や東京からのアクセスが多く、九十九島の認知度向上への効果が期待されます。

生き生きと魅力を伝える

スタッフの皆さん

今回の取材で出会ったスタッフの皆さんは、九十九島の景色や生き物の魅力について生き生きと楽しそうに話してくれました。その様子から、九十九島の良さを伝え、実際に訪れて楽しんでもらいたいと心から願っているのが伝わりました。その思いは99本のCMを見ても感じる事ができます。九十九島の魅力を生き生きと伝える九十九CMを、ぜひご覧ください。

取材日 9月16日

九十九島かき食うカキ祭り



カキのシーズンが始まる11月に、新鮮な九十九島かきのパーベキューを楽しむことができる「九十九島かき食うカキ祭り」。毎年大好評のイベントをこしも開催します！会場の大芝生広場には焼き台400台を準備し、地元の水産加工品を販売する出店も並びます。家族や仲間と焼き台を囲みながら、九十九島の海の幸をお楽しみください。

時 11月1日⑩、3日⑩、7日④、8日⑩、14日④、15日⑩、21日④、22日⑩、23日⑩、28日④、29日⑩
※10時～16時。焼き台の使用は17時まで。

場 九十九島パールシーリゾート大芝生広場
料 殻付き生カキ(約1キロ)700円
木炭(約1キロ)200円
軍手・カキ開けナイフセット250円

※焼き台の使用は無料。飲食物の持ち込みはできません。

九十九島まんきつプラン

「カキ祭り」と「九十九島水族館海きらら」または「カキ祭り」と「九十九島遊覧船パールクィーン」などをセットで満喫できるプランです。昼の混み合う時間帯でも、焼き台を確保することができます。九十九島の味覚や景色、生き物の魅力を1日で楽しみませんか。

※カキ祭りだけを利用する場合は、焼き台の予約はできません。

※プランの内容など、詳しくはお尋ねください。

記事に関する問い合わせ
九十九島パールシーリゾート ☎28-4187



写真は完成したCMや撮影の様子です。水族館のクラゲ研究室や大水槽の前など、さまざまな場所で、スタッフや朝長市長が熱演しました

九十九CM特設サイトはこちらどうぞ
<http://99cm.pearlsea.jp/>

